

ナンバリング	B④11	科目名	あそび実践演習（こどもと運動）		担当教員	田 中 葵	
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・④		担当形態	単独			
テキスト	適宜資料を配布する。			単位数 授業形態	1単位 演習	開講時期	後期
講義概要 ■到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・動きの質を理解し、その要素を使った即興を楽しむことができる。 ・子どもの動きから学び、そこからのさまざまな遊びの展開について考え、検討することができる。 ■授業の概要 本授業の前半は、動きの質に関係する空間・時間・エネルギーに焦点を当てながら、動きで即興的に遊びます。また、毎授業、ペアやグループで互いの動きから学び合います。後半は、子どもたちと遊びながら、子どもがどのような動きを楽しんでいるか、それによりどのような経験をしているのかを観察し、考察します。 ■授業計画 第1回 オリエンテーション：身体の再発見、指の研究 第2回 空間（1）曲線と直線で遊んでみる 第3回 空間（2）床の図形をつくって遊んでみる 第4回 時間：自然のリズムを探し、調べる、遊ぶ 第5回 エネルギー：気まぐれな1分間を過ごしてみる 第6回 描く（1）様々な素材を身体で感じて描こう 第7回 描く（2）空間に絵を描いてみよう 第8回 身近なものに触れて感じて遊ぼう、学外学習の準備 第9回 フィールドワーク（1）子どもと遊ぶ、観察する、関わりあう 第10回 ふりかえり、考察する 第11回 テーマの観察 第12回 テーマの動き 第13回 フィールドワーク（2）子どもと遊ぶ、観察する、関わりあう 第14回 ふりかえり、考察する 第15回 まとめ ■準備学習 <ul style="list-style-type: none"> ・授業で行われる技能や課題について自己練習をすること。 ・毎授業後にはレポートを提出すること。 ■評価方法 <ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み（実技への積極的な取り組み） — 50% ・実技の成果 — 40% ・授業毎のレポート — 10% 							
参考文献	無藤隆他（2007）「領域表現」萌文書林、西洋子他（2003）「子ども・からだ・表現—豊かな保育内容のための理論と演習」市村出版等、随時紹介する。			特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かしやすい服装と上履きで参加すること。 【課題等へのフィードバック方法】 ・授業毎のレポートにはコメント等を書き加えて返却する。 ・発表の際には口頭でコメントをする。 		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択			幼保	領域に関する専門的事項 保育の内容・方法に関する科目		
実務経験のある教員等による授業内容							